

【中学生の部】



みんなが安心できる町をつくるために

いわき市立錦中学校3年 本柳 結衣

みんなが安心して暮らせる町をつくるには、どうしたら良いだろう。そう考えたとき、私は挨拶が思い浮かびました。そこで、挨拶の効果を考えてみました。

まず、一つは、防犯になるということです。

以前、防犯教室に警察官の方が来てくださったとき、挨拶などの声かけが効果的だということを教えていただきました。声をかけられることは、犯人にとって犯罪を思いとどまる大きな材料になるそうです。知らない人にいきなり声をかけることはハードルが高いですが、挨拶ならハードルも低く、誰でもすぐに始められると思います。私は、このことを知り登下校時など、積極的に挨拶をするようにしています。

二つ目は、地域の人たちとの交流になるということです。私は七年前に今住んでいる場所に引っ越してきました。でも、近所に住んでいる人との交流はあまりなく、どんな人が住んでいるのかもあまり知っていませんでした。それに比べ、私の祖父母が住んでいる地域では、道ですれ違ふとみんな明るく挨拶をしてくれます。挨拶から会話が始まることもあり、近所の人たちとの交流がとても深いです。自分が住んでいる地域の人たちとの交流を深めていくためにも挨拶はとても効果的です。

三つ目は、気分が明るくなり、笑顔になる機会が増えるということです。挨拶をしたり、されたりすることで嫌な気持ちになったり、暗い気分になる人は滅多にいないと思います。挨拶を明るい声ですると、された人はもちろん嬉しい気持ちになりますが、その後に相手から明るい挨拶が返ってくると、した人も嬉しい気持ちになり、自然と笑顔がこぼれてきます。心と身体はつながっています。元気がない時でも身体で元気に挨拶をすると、それにつられて心も元気になっていきます。挨拶をきっかけにして明るい気持ちになり、笑顔が増えて心も身体も元気にすることもできるのです。これが自分だけでなく地域の人たちにも広がっていけば、とても明るく、みんなにとって居心地のよい町をつくっていくことができると思います。

このように、挨拶にはたくさんの効果があります。地域の人たちと一緒に挨拶の輪を広げていくことにより、犯罪を防止することができ、交流を深められ、みんなが明るく笑顔になることができます。これは、みんなが安心して暮らすことのできる町をつくるためには、とても重要なことだと思います。どんなに小さなことでもみんなでやれば必ず町は良い方向に向かっていくはずです。私の理想は、明るい挨拶が飛び交う、安心して暮らす居心地の良い町です。そんな町をつくっていくため、私は挨拶の輪を広げていこうと思います。

